打放しコンクリート用
シランフッソ仕上げ材

アクアトップ®SF水性・SFマイルド

(一社)日本塗料工業会登録	SF水性	SFマイルド
登録番号	D01169	D01257
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆

内外部用　は け　ローラー　保護具着用

打放しコンクリート用 シランフッソ仕上げ材

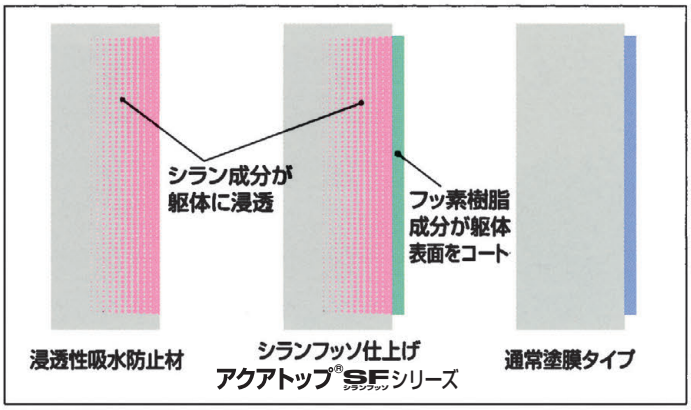
アクアトップ®SF水性・SFマイルド

シランフッソ　シランフッソ

**アクアトップ SF水性・SFマイルドは、
従来の浸透性吸水防止材「アクアシール200S」の機能に
フッ素樹脂の耐久性を付与させた水性タイプと弱溶剤タイプの
シランフッソ仕上げ材です。**

■ アクアトップ SF水性・SFマイルドの特長

〈イメージ〉



- □ 一液タイプのシランフッソ仕上げ材でシランの浸透層とフッ素の表面保護層を形成します。
- □ 塗布面は躯体の意匠を活かす自然な仕上がりとともに撥水持続が期待できます。
- □ 酸性雨に対してコンクリート面の表面保護が期待できます。
- □ 2回塗り（追っかけ）で施工性に優れます。

■ アクアトップSF水性とSFマイルドの相違点と共通点

①SF水性はその名の通り水性なので環境に大変優しいタイプです。一方SFマイルドは弱溶剤タイプなので、低温下での施工を行う際に優れています。水性タイプは低温下ではどうしても乾燥時間を要してしまいます。
②カラークリヤー工法・リフレッシュ工法の施工にはSF水性が適しています。SFマイルド専用着色剤を使用する場合は、スプレー塗りとなりますので養生が必須です。

■ 用　途

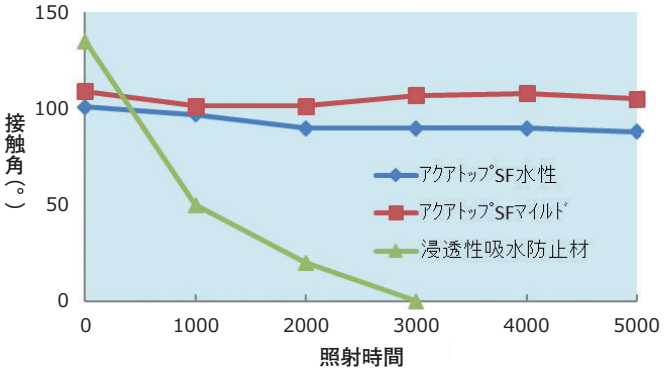
適用基材	標準塗布量
打放しコンクリート、モルタル等	0.16～0.20kg/m²（約50m²/10kg缶）
吸い込みが大きい基材 コンクリートブロック(化粧ブロック等)	0.25～0.30kg/m²（約35m²/10kg缶）

■ 標準塗装仕様（アクアトップ SF水性・SFマイルド）

工　程	使用材料	塗布量(kg/m²)	施工間隔(20℃)	塗布方法
1	アクアトップ SFシリーズ	0.08～0.10	SF水性：追っかけ塗り～1時間以内 SFマイルド：追っかけ塗り	はけ、ローラー
2	アクアトップ SFシリーズ	0.08～0.10	SF水性：24時間以上乾燥養生 SFマイルド：6時間以上乾燥養生	はけ、ローラー

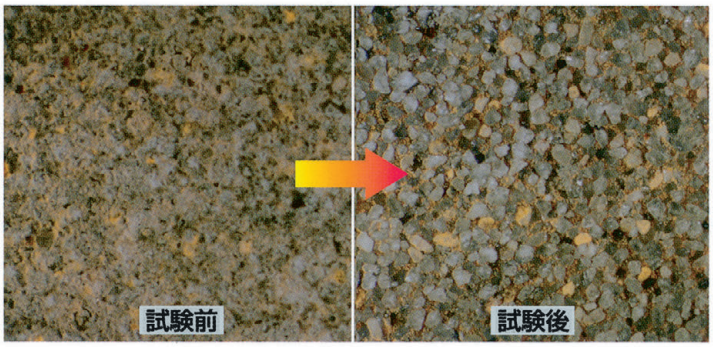
※塗布対象面の状態（モルタル補修の有無等）により、稀に変色の可能性があります。
これを防ぐために試し塗りを必ず実施して事前確認および塗布量を決定してください。

■撥水持続性
促進耐候性試験（キセノン）

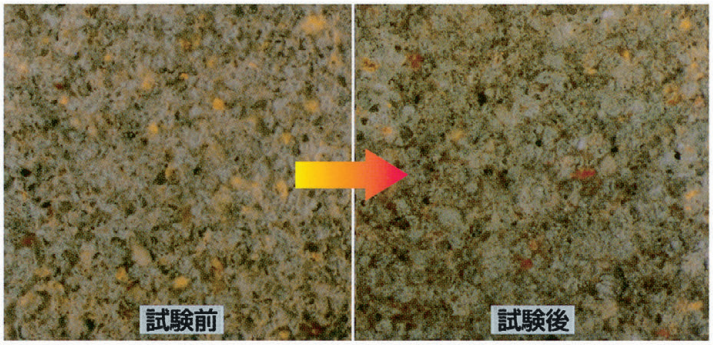


■コンクリート保護性（コンクリート表面の劣化状況写真）
サンシャイン ウェザー メーター 5000時間

無処理面モルタル



アクアトップ SFシリーズ塗布面



■ 施工方法（アクアトップ SF水性・SFマイルド）

事前確認

1. 新築か補修かによって、また基材の種類によって施工の工程、数量や養生等が異なりますので十分に確認してください。
2. アクアトップ SF水性・SFマイルドを塗布した際、風合変色および樹脂等のウキが発生することがあります。これを防ぐための事前確認および塗布量決定のための試し塗りを必ず実施してください。
3. 吸い込みの多い素地では吸い込みが収まるまで塗り重ねる必要があります。その際、コンクリートの風合いを損なうことがありますので、必ず事前に試験塗装を行い、確認してください。

前処理

1. 塗布対象面は、汚れ、油分などを除去し、清浄かつ乾燥した状態にしてください。（含水率:ケット水分計 6%以下）
2. 塗布対象面のクラック、ジャンカ、欠損等のある場合は、色合いおよび吸い込みが同程度のモルタル補修材で処理してください。
3. 塗布対象面の周辺および非塗布面に対しては必ず養生してください。

施工

1. アクアトップ SF水性・SF マイルドは希釈せずそのまま使用してください。
2. 塗布方法は、ローラーで施工してください。（スプレーで塗装される場合は、周辺の養生を十分に行ってください。）
3. アクアトップ SF水性・SF マイルドは乾燥すると塗布面と未塗布面との区別がつきにくくなります。塗りもれのないようブロック毎等、中断することなく連続で塗布してください。
4. アクアトップ SF水性・SF マイルドを塗布面にむらなく十分浸透させるためには、一度に厚塗りせず 2 回に塗り重ね、所定の量を塗布してください。（スプレーで塗装される場合は、霧散しますので 2～4 割程多めの量を塗布してください。）
   アクアトップ SF水性は、1 時間以内に 2 回目を塗布してください。液が垂れたり、液がたまるとムラの原因になります。
5. アクアトップ SF水性の塗布完了面は 20℃、24 時間以上、SF マイルドの塗布完了面は 20℃、6 時間以上乾燥養生してください。

検査

1. 完了したアクアトップ SF水性塗布面（20℃、72 時間以上乾燥養生後）・SF マイルド塗布面（20℃、48 時間以上乾燥養生後）に水をかけ、撥水状態と 30 秒から 1 分以内に濡れ色が出ないことを確認してください。
2. 塗布もれ箇所については、乾燥後に所定の量を再度塗布してください。
3. 冬季などの低温時や高湿時、塗布後 2 ～ 3 日以内に雨に打たれた場合、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。
4. 改修工事等で、コンクリートの中性化が進行している場合は、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。

アクアトップ® SF（シランフッソ） 水性 カラークリヤー工法

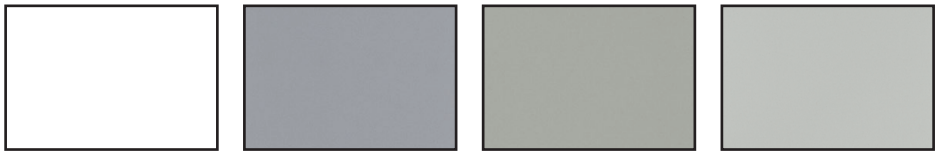
■ カラークリヤー工法の特長

- □ 現場で着色剤をアクアトップ SF水性に添加･混合することにより、カラークリヤーの仕上げが可能です。
- □ 塗装ムラ、濡れ色を抑えた、自然なコンクリートの質感が活かせる工法です。
- □ 打放しコンクリート面の改修時の仕上げ材として適しており、外観向上にも期待できます。
- □ 軽微な汚れや、補修部をぼかすこともできます。

■ 用　途

適用基材	標準混合割合
打放しコンクリート、モルタル等	標準混合割合はアクアトップ SF水性に対して、着色剤5～10%（質量）が可能です。

■ アクアトップ SF水性専用着色剤のカラーバリエーション



白　グレー　モルタルグレー　フレッシュグレー

＊色見本は印刷のため色調が異なります。

■ 標準塗装仕様

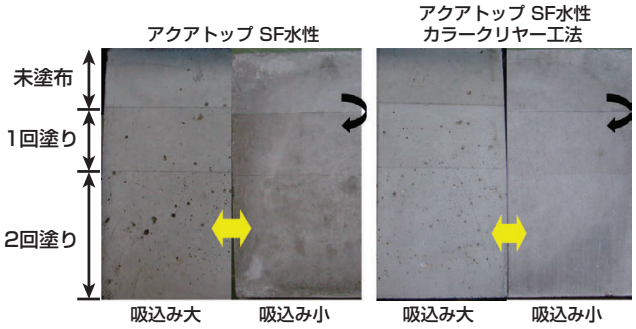
工程	使用材料	塗布量（kg/m²）	施工間隔（20℃）	塗布方法
事前調合	アクアトップ SF水性と着色剤は質量比100:5（標準）の割合で混合し、よく撹拌すること。施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく撹拌すること。			
1	アクアトップ SF水性調合液(着色剤5%)	0.08～0.10	追っかけ塗り～1時間以内	はけ、ローラー
2		0.08～0.10	24時間以上乾燥養生	はけ、ローラー

※塗布対象面の状態（モルタル補修の有無等）により、稀に変色の可能性があります。
これを防ぐために試し塗りを必ず実施して事前確認および塗布量や着色剤の添加量を決定してください。

■ アクアトップ SF水性 カラークリヤー工法の仕上がり感

中央：着色剤　白

■ 下地の吸込み差による仕上がりの比較



基材：コンクリート歩行板
結果：アクアトップ SF水性カラークリヤー工法の場合、下地の吸込みに左右されにくく、ほぼ同じ仕上がりになりました。

■ 施工方法（アクアトップSF（シランフッソ）水性　カラークリヤー工法）

1. 新築か補修かによって、また基材の種類によって施工の工程、数量や養生等が異なりますので十分に確認してください。
2. アクアトップ SF水性調合液を塗布した際、風合変色および樹脂等のウキが発生することがあります。これを防ぐための事前確認および塗布量決定のための試し塗りを必ず実施してください。
3. 吸い込みの多い素地では吸い込みが収まるまで塗り重ねる必要があります。その際、コンクリートの風合いを損なうことがありますので、必ず事前に試験塗装を行い、確認してください。

1. 塗布対象面は、汚れ、油分などを除去し、清浄かつ乾燥した状態にしてください。（含水率：ケット水分計6%以下）
2. 塗布対象面のクラック、ジャンカ、欠損等を手直しする場合は、色合いおよび吸い込みが同程度のモルタル補修材で処理してください。
3. 塗布対象面の周辺および非塗布面に対しては必ず養生してください。

1. アクアトップ SF水性、着色剤は希釈せずそのまま使用してください。
2. アクアトップ SF水性と着色剤は質量比100：5(標準)の割合で混合しよく撹拌してください。アクアトップ SF水性と着色剤は一度に混合せず、最初にアクアトップ SF水性と着色剤を質量比10～20：5で均一に混合してから、残りのアクアトップ SF水性を加えると均一に混ぜやすいです。着色剤は、粘度が高く、缶の底、内壁に付着しやすいので注意して撹拌して、均一に混合しているか確認してください。施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく撹拌してください。
3. 塗布方法は、短毛ローラーで施工してください。（スプレーで塗装される場合は、周辺の養生を十分に行ってください。）
4. アクアトップ SF水性調合液は乾燥すると塗布面と未塗布面との区別がつきにくくなります。塗りもれのないようブロック毎等、中断することなく連続で塗布してください。
5. アクアトップ SF水性調合液を塗布面にむらなく十分浸透させるためには、一度に厚塗りせず2回に塗り重ね、所定の量を塗布してください。
（スプレーで塗装される場合は、霧散しますので2～4割程多めの量を塗布してください。）
カラークリヤーのため液垂れしないよう均一に塗布してください。液が垂れたり、液がたまるとムラの原因になります。アクアトップ SF水性調合液は、1時間以内に2回目を塗布してください。
6. アクアトップ SF水性調合液の塗布完了面は20℃、24時間以上乾燥養生してください。
7. アクアトップ SF水性調合液は、必要量だけ調合し、2～3日以内に使い切ってください。

1. 完了したアクアトップ SF水性カラークリヤー工法塗布面(20℃、3日以上乾燥養生後)に水をかけ、撥水状態と30秒から1分以内に濡れ色が出ないことを確認してください。
2. 塗布もれ箇所については、乾燥後に所定の量を再度塗布してください。
3. 冬季などの低温時や高湿時、塗布後2～3日以内に雨に打たれた場合、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。
4. 改修工事等で、コンクリートの中性化が進行している場合は、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。

■ 施工例

施工前

施工後

アクアトップ
SF水性カラークリヤー工法
（着色剤　白）

アクアトップ® SF（シランフッソ） 水性 リフレッシュ工法

■ リフレッシュ工法の特長

□ 現場で着色剤をアクアトップ SF水性に添加･混合することにより、汚れや補修跡を隠ぺいし、打放しコンクリート面をリフレッシュします。
□カラークリヤー工法の隠ぺい力を向上させた工法です。
□打放しコンクリート面の改修時の仕上げ材として適しており、外観向上にも期待できます。

■ 用　途

適用基材	標準混合割合
打放しコンクリート、モルタル等	標準混合割合はアクアトップ SF水性に対して、着色剤20～30%（質量）が可能です。

■ アクアトップ SF水性専用着色剤のカラーバリエーション

白　グレー　モルタルグレー※　フレッシュグレー※

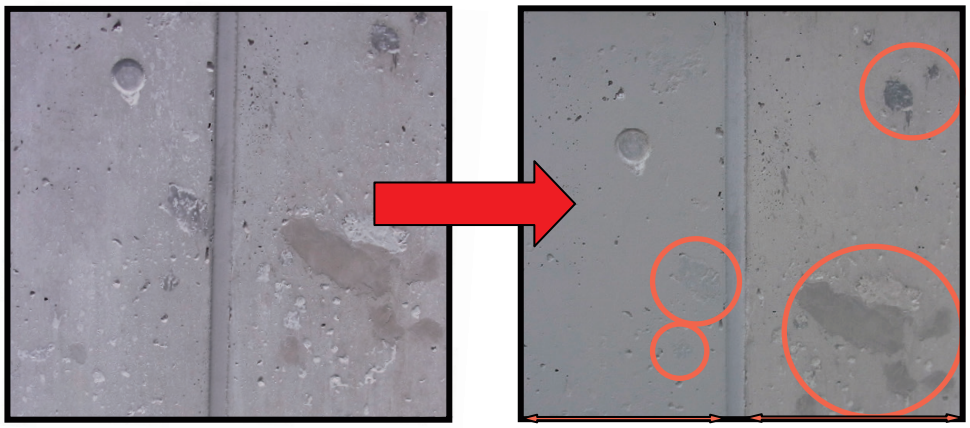
＊色見本は印刷のため色調が異なります。
※推奨色

■ 標準塗装仕様

工程	使用材料	塗布量(kg/m²)	施工間隔(20℃)	塗布方法
1	アクアトップ SF水性	0.08～0.10	追っかけ塗り～1時間以内	はけ、ローラー
調合	アクアトップ SF水性と着色剤は質量比100:30(標準)の割合で混合し、よく撹拌すること。 施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく撹拌すること。			
2	アクアトップ SF水性 調合液(着色剤30%)	0.10～0.12	追っかけ塗り～1時間以内	はけ、ローラー
3		0.10～0.12	24時間以上乾燥養生	はけ、ローラー

※塗布対象面の状態(モルタル補修の有無等)により、稀に変色の可能性があります。
これを防ぐために試し塗りを必ず実施して事前確認および塗布量や着色剤の添加量を決定してください。

■ アクアトップ SF水性　リフレッシュ工法の仕上がり感



未塗布　　リフレッシュ工法(モルタルグレー30%)　　カラークリヤー工法(モルタルグレー10%)

■ 施工方法(アクアトップSF(シランフッ)水性　リフレッシュ工法)

1. アクアトップ SF水性、着色剤は希釈せずそのまま使用してください。
2. 最初に着色剤を混合していないアクアトップ SF水性を塗布し、1時間以内にアクアトップ SF水性調合液を塗布してください。
3. アクアトップ SF水性と着色剤は質量比100：30(標準)の割合で混合しよく撹拌してください。アクアトップ SF水性と着色剤は一度に混合せず、最初にアクアトップ SF水性と着色剤を質量比30～50：30で均一に混合してから、残りのアクアトップ SF水性を加えると均一に混ぜやすいです。着色剤は、粘度が高く、缶の底、内壁に付着しやすいので注意して撹拌して、均一に混合しているか確認してください。施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく撹拌してください。
4. 塗布方法は、短毛ローラーで施工してください。(スプレーで塗装される場合は、周辺の養生を十分に行ってください。)

※その他の施工方法は、アクアトップ SF水性カラークリヤー工法と同様です。(P3～4参照)

■ 施工例

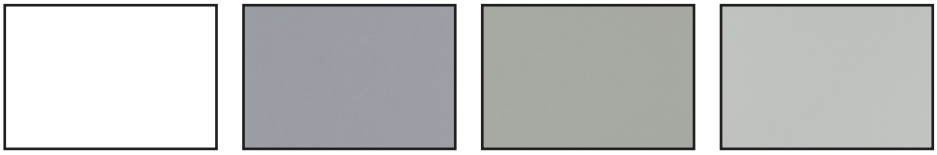
施工前

施工後

アクアトップ® SF（シランフッソ） マイルド 着色工法

現場で着色剤をアクアトップＳＦマイルドに添加・混合することにより、カラークリヤーから隠ぺい力大の仕上げが可能です。

■ アクアトップSFマイルド専用着色剤のカラーバリエーション



白　グレー　モルタルグレー　フレッシュグレー

＊色見本は印刷のため
色調が異なります。
＊SF水性とは
色調が異なります。

■ 標準塗装仕様

工程	使用材料	塗布量(kg/m²)	塗装間隔(20℃)	塗布方法
1※	アクアトップSFマイルド	0.08～0.10	追っかけ塗り	はけ･ローラー･スプレー
調合	アクアトップSFマイルドと着色剤は質量比100:1～10の割合で混合し、よく攪拌すること。 施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく攪拌すること。 着色剤の添加量(目安):1～3%(カラークリヤー調)、5～10%(隠ぺい力大)			
2	アクアトップSFマイルド 調合液	0.08～0.10	追っかけ塗り	スプレー
3		0.08～0.10	6時間以上乾燥養生	スプレー

※着色剤5～10%で使用する際、下地のクラックが目立つ場合に実施してください。

■ 施工方法（アクアトップSF（シランフッソ）マイルド　着色工法）

1. アクアトップSFマイルド、着色剤は希釈せずそのまま使用してください。
2. 着色剤5～10%で使用する際、下地のクラックが目立つ場合、最初に着色剤を混合していないアクアトップSFマイルドを塗布してください。
3. アクアトップSFマイルドと着色剤は質量比100：1～10の割合で混合しよく攪拌してください。着色剤は、粘度が高く、缶の底、内壁に付着しやすいので注意して攪拌して、均一に混合しているか確認してください。施工中も分離していないか注意し、一定時間ごとによく攪拌してください。
4. 塗装方法は必ずスプレーで塗布してください。（周辺の養生を十分に行ってください。）
5. アクアトップSFマイルド調合液は乾燥すると塗布面と未塗布面の区別がつきにくくなります。塗りもれのないようブロック毎等、中断することなく連続で塗布してください。
6. アクアトップSFマイルド調合液を塗布面にむらなく十分浸透させるためには、一度に厚塗りせず2回に塗り重ね、所定の量を塗布してください。霧散しますので、2～4割程多めの量を塗布してください。着色工法のため液垂れしないよう均一に塗布してください。液が垂れたり、液がたまるとムラの原因になります。
7. アクアトップSFマイルド調合液の塗布完了面は20℃、6時間以上乾燥養生してください。
8. アクアトップSFマイルド調合液は、必要量だけ調合し、2～3日以内に使い切ってください。

※その他の施工方法は、アクアトップSFマイルドと同じです。（P1～2参照）

■ 性　状

品　名	アクアトップSF水性	アクアトップ SF水性 専用着色剤	アクアトップSFマイルド	アクアトップSFマイルド 専用着色剤
外　観	乳白色エマルション	粘稠　液体	乳白色液体	粘稠 液体
成　分	シラン･フッ素樹脂	シリコーン樹脂系合成樹脂 エマルションおよび特殊無機フィラー	シラン･フッ素樹脂	特殊樹脂およびフィラー
密　度	1.03±0.05 (20℃)	1.49±0.10 (23℃)	0.82±0.05 (23℃)	1.31±0.05 (23℃)
p　H	6～9	8～10	—	—
消 防 法	非危険物	非危険物	第4類 第2石油類	第4類 第2石油類

■ 荷　姿

品　名	アクアトップSF水性	アクアトップSF水性 専用着色剤	アクアトップSFマイルド	アクアトップSFマイルド 専用着色剤
荷　姿	10kg入〈石油缶〉	4kg、3kg〈丸型ブリキ缶〉、 2kg、1kg、0.5kg〈ポリ容器〉	10kg入〈石油缶〉	4kg、1kg〈丸形ブリキ缶〉

施工上の注意事項

■ アクアトップSF水性

- 使用する前に缶を振るなどしてよく混ぜてください。
- **アクアトップ SF水性は希釈せずそのまま使用してください。**
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、マスク、保護手袋、保護眼鏡、前掛等を着用してください。
- 気温8℃以下、風速5m／秒以上、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。
  また、施工中に降雨、降雪等にあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗布面を保護してください。
- 塗布対象面以外の箇所（植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等）は、養生等を施し、付着させないようにしてください。
- ガラス面、金属面、プラスチック面等に付着したときは、速やかに除去してください。
  (固着すると全く除去できなくなる場合がありますので十分に注意してください。)
- 塗布面の油脂類、汚れ等は撥水性を損なう場合がありますので、洗剤等で十分に洗浄、除去し、乾燥した状態で塗布してください。
- 塗布方法は**はけ**、ローラーを使用してください。
- 塗装機器、塗装器具等は使用後速やかに水等で洗浄してください。
- **アクアトップSF水性塗布後24時間(20℃)は水がかからないように養生してください。**
  (塗布後撥水性が発揮するまでに雨水、降雨等で白亜化の原因になる場合がありますので十分に注意してください。)
- **アクアトップSF水性の塗布面に塗料などを塗り重ねる場合は、アクアトップSF水性表層の樹脂層を動力工具などで除去する必要があります。また、水性タイプの塗料は弾いて使用できませんので、溶剤タイプの塗料を使用しシーラーやプライマーから塗装してください。**
- 本製品の施工にあたっては多少の臭気と飛散に対して作業者に注意を促すとともに周辺環境にも留意してください。
  特に近隣の居住者には施工の前に事前の説明および了承を得るようにしてください。
- 施工にあたっては必ず施工手順書をご請求ください。

■ アクアトップSFマイルド

- **引火性液体ですので、火気および高温物のあるところでは使用しないでください。**
- **取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、耐油性保護手袋、保護眼鏡、前掛等を着用してください。塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。**
- **使用前に良く攪拌し、底部に沈殿物のないことを確認後、希釈せずそのまま使用してください。**
- **気温5℃以下、風速5m／秒以上、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。また、施工中に降雨、降雪等にあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗装面を保護してください。**
- **塗布対象面以外の箇所（植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等）は養生等を施し、付着させないようにしてください。（固着すると全く除去できなくなる場合がありますので十分注意してください。）**
- **スプレー機器、ローラー、はけ等は施工部位を考慮して適切なものを使用してください。**
- **スプレー機器、ローラー、はけ等使用後はシンナー等で洗浄してください。**
- **塗布後6時間は水のかからないように養生してください。**
- **アクアトップSFマイルドの塗布面に塗料などを塗り重ねる場合は、アクアトップSFマイルド表層の樹脂層を動力工具などで除去する必要があります。また、水性タイプの塗料は弾いて使用できませんので、溶剤タイプの塗料を使用しシーラーやプライマーから塗装してください。**
- **本品には臭気があります。施工にあたっては作業者に注意を促すとともに周辺環境にも留意してください。特に近隣の居住者には施工の前に事前の説明および了承を得るようにしてください。**

取り扱い、保管上の注意事項

- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ時は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 容器は転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずる等の乱暴な取り扱いはしないでください。
- 流出物は、乾燥砂、土、おがくず等に吸収させて容器に回収してください。大量の場合には、盛土で囲って流出を阻止してください。
- 一定の場所を定め子供の手の届かないところに保管してください。
- 容器は直射日光を避け、密栓して通風の良い冷暗所に保管してください。
- **SF水性は凍結防止のため、0℃以上で保管してください。**
- 中身を使いきってから廃棄してください。
- 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意してください。
- 容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないでください。
- 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置してください。
- 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託してください。
- 廃塗料等を焼却処理する場合には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連する法規に従って処理してください。

製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。

これら材料の安全な取り扱いにあたっては使用される材料に該当する安全データシート(SDS)を必ずご参照ください。

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は通常の取り扱いを対象としており、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途、方法に適した安全策を実施のうえ、お取り扱い願います。

coatings care®

アクアシール会

SINCE 1932.
大同塗料株式会社
ISO 9001（滋賀工場）
本　　社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
アクアシール会 https://www.aquaseal.jp

PRINTED WITH SOY INK
50-1189
'24. 1. 10版 3,000S